(3)平成 2 年　継目排水孔送水調査

継目排水孔を利用して、図 2.10 に示す要領で着色水を注入し漏水経路を調査した。結果は表 2.3 に示すとおりで、J4、J22、J23 で下流面ボーリング排水孔やフーチングで着色水の浸出が確認された。

表 2.3　継目排水孔送水調査結果(平成 2 年 7 月)

継目No.	実施日	ダム貯水位(m)	坑口標高(m)	注入時間(h)	最大圧力(kg f/cm²)	状況
J-4	H2. 7. 15	EL. 378. 3	EL. 353. 0	3. 5	1. 0	・7～8L/分の送水量 ・翌日 EL. 348. 0m、J-4＋6 の水平孔より着色水確認。
J-6	H2. 7. 14	EL. 379. 1	EL. 328. 5	2. 5	2. 4	・5L/分未満で送水 ・下流面および各孔から流出なし。
J-7	H2. 7. 12 ～7. 13	EL. 380. 0	EL. 321. 0	8. 0	1. 4	・8～10L/分の送水 ・下流面および各孔から流出なし。
J-20	H2. 7. 16	EL. 377. 6	EL. 342. 0	5. 0	0. 8	・20L/分の送水 ・下流面および各孔から流出なし。
J-21	H2 7. 14 ～7. 15	EL. 379. 0	EL. 355. 0	6. 2	－	・15L/分で送水しても圧力上昇なし ・下流面および各孔から流出なし。
J-22	H2. 7. 14	EL. 379. 0	EL. 368. 0	3. 5	0. 4	・15L/分で送水 ・送水開始後 1. 5 時間後、J-23、EL. 362m のﾌｰﾁﾝｸﾞに着色水を確認。 ・堤体下流面および各孔に変化なし。
J-23	H2. 7. 13	EL. 380. 0	EL. 376. 0	5. 3	－	・20L/分で送水したが圧力上昇せず、送水開始後 2. 3 時間後 J-23、EL. 362m のﾌｰﾁﾝｸﾞおよび下流法面の排水孔に着色水を確認。 ・堤体下流面および各孔に変化なし。

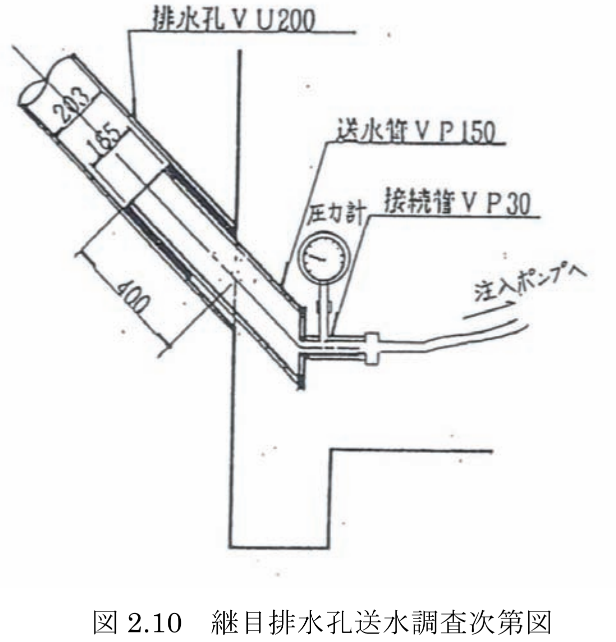

図 2.10　継目排水孔送水調査次第図

(4)平成 13 年　水質調査

図 2.11 に示す 4 地点から採水して、水質の分析を行った。結果を図 2.12～13 に示す。ヘキサダイヤグラムでは、貯水池と堤体左岸下部および堤体中央下部とは明らかに異なる。キーダイヤグラムでは、すべて非炭酸カルシウム(Ⅲ)型を示す。これは玉川温泉の影響を受けた結果と考えられる。

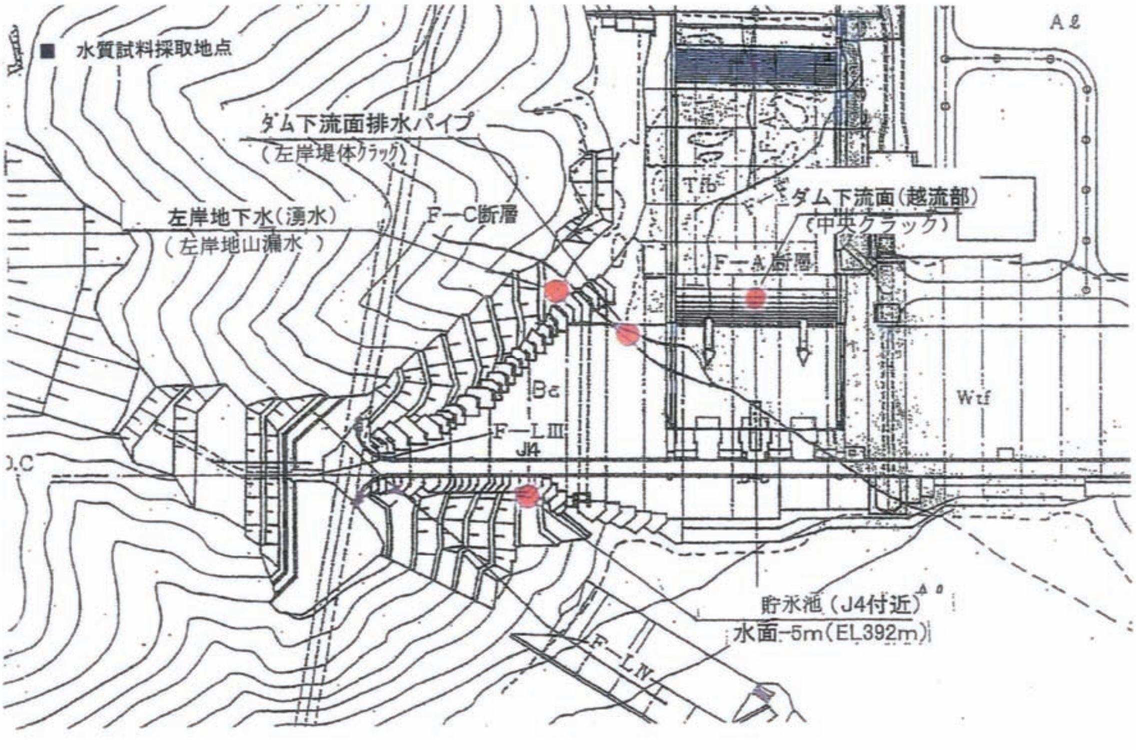

図 2.11　水質調査採水位置図

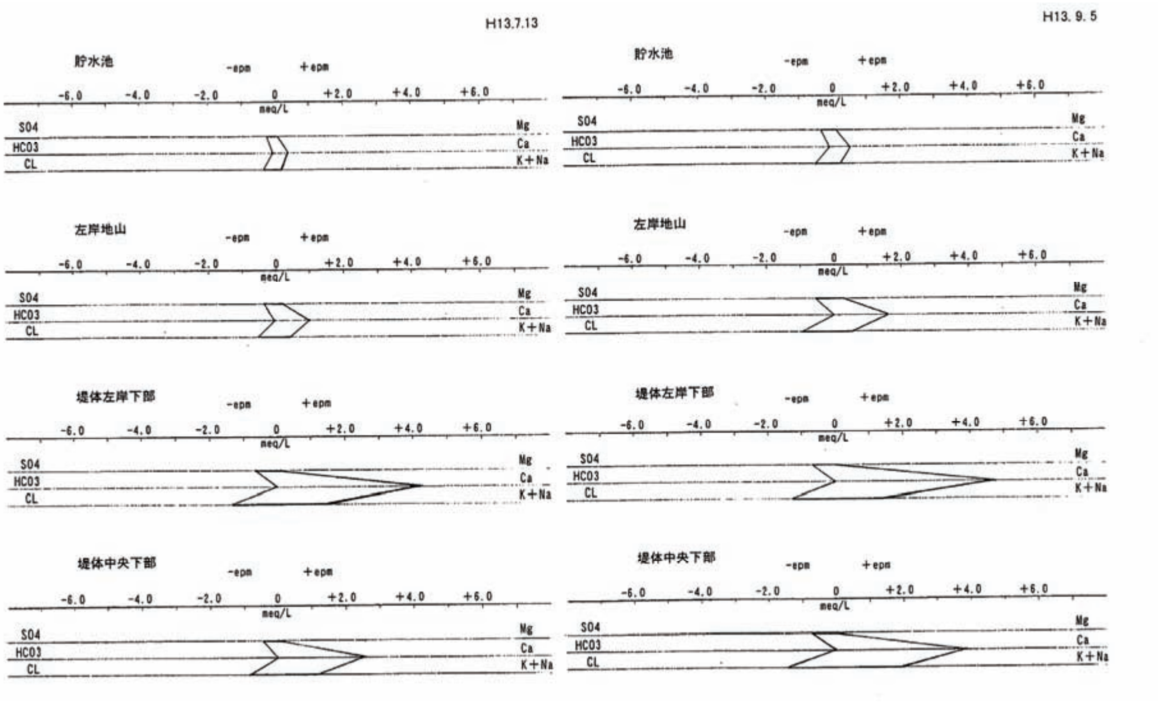

図 2.12　水質調査結果へキサダイヤグラム

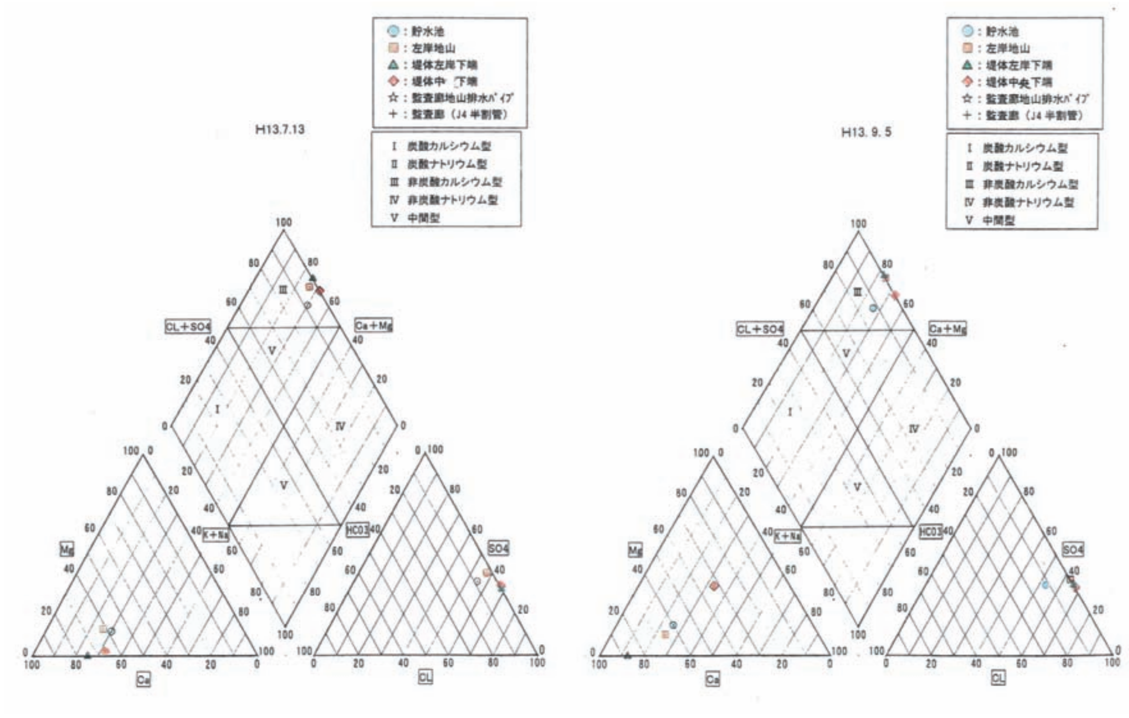

図 2.13　水質調査結果キーダイヤグラム